



「子供を真ん中に」

明日、**6月27日(木)**は**学習参観日**です。低学年の子供たちは、玄関付近を行ったり来たりしておうちの方がいらっしやるのを「今か今か」と待っていることでしょう。梅雨入りし、蒸し暑い中ではありますが、たくさんのご参加をお待ちしています。

一緒に子育てする感覚を大切に・・・

「お子さんの様子を教室の後ろから、あるいはフリースペースからそっと見守る」

これが学習参観の定番のようになっていますが、学校の中にも、間違いなくどのお子さんも大事な存在。「目の前にいる自分のお子さんの様子が気になって仕方がない」というときには、ぜひ近くへ行って、**そっと**声をかけてくださってかまいません。子供たちの成長は、待ったなし。子供自身が教員も家族もみんなが自分の成長を気にかけて見守っていると当たり前前に思えたら素敵です。

コミュニティ・スクールの仕組みを導入して早3か月。学校と家庭が一緒になって、それぞれの立場で子育てをしていきたいと思っています。

見張るのではなく、「見守る」

誰でも見張られていると感じたら、嫌な気持ちになるものです。「見張る」と「見守る」の違いはとても大きいのです。教室の中で子供たちを「見守る」ときは、「笑顔」を心がけています。



そして、もう一つ大切にしたいこと

それは、決して比べないことです。「のび太くん」と「スネ夫くん」。「〇年〇組」と「〇年□組」。日々の変化や成長は、その子の中で(そのクラスの中で)起こっています。その子自身の成長を純粋に喜ぶことで、きっとその子は愛されていると感じるはずです。

新学期がスタートして3か月が経ち、子供たちの様子も変化しています。成長の段階として、「落ち着きがない」と心配される状況も見られますが、次のステージに向けて着実に成長していくことができるように、学校総ぐるみ、全力で教育活動に取り組んでいますので、ご理解いただき、ぜひお力添えください。

学校だけではなかなかうまくいかない困難なことも、家庭・地域の皆様と前向きに力を合わせることで、きっと子供たちは明るい方向に、たくましく成長していくと信じています。

「一人の子どもを育てるには、一つの村がいる」

アフリカのことわざだそうです。

よつば小学校は、誰の子供でも大切に育てる村でありたいと思います。
(コミュニティ・スクール)

